平成22年度 001 一般会計

선 스 시

歳出予算事業概要書

平成22年 4月30日 16時55分 作成

1 百

(簡略番号 当初予算 作 成 者:上井 明彦 011134) 前年度 所属課コート 21000000 前年度 各 課 06 商工費 調整結果額 要求額 うち復活額 所属課名 産業振興課(商工観光) 頂 当初予算 現計予算 一般財源 01 商工費 内線番号 02 商工振興費 420 420 440 440 大事業 132 町特産品 P R 事業 実 部 実施計画計上額 中事業 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 章 00 節 財源内訳 小事業 00 計 0 0 440 細節 画 細事業 0 1.事業の概要と必要性 節 本年度の財源内訳 二十世紀梨を中心とした町特産品をPRすることにより、本町の魅力を紹介するとともに 区分 金額 財源 款 頂 月 節 細節 全 額 中長期的な視点で特産品の販売促進活動を行う。 8 報償費 1. P R 活動旅費(職員・観光大使) 9 旅費 240 2.抽選会実施による販売促進 11 需用費 130 3. 郵券料 12 役務費 50 14 使用料及び賃借料 2.根拠法令 |3.用地の状況 4 . 基本計画との関連 【第一次総合計画】にぎわいと活力あふれる産業のまちづくり 5 . 本年度の計画効果 二十世紀梨を中心とした町特産品を幅広くPRすることで、町の魅力のひとつとして情報発信するともに、将来的な販路拡大に繋げていきたいと考えている。販売促進活動の実施については、短期間で成果が表れるものばかりではなく、中長期的に継続実施していく中 で成果が表れるものも当然あり、地域での気運の醸成やPR後のフォローアップなど取り 組み全体を考慮しながら実施していきたいと考えている。 また、イベント等への参画にあたっては、費用対効果等の視点も必要であり、鳥取県をは |6.財源の説明 じめ県外事務所、観光連盟等との連携を図りながら、より効果的な販売促進活動を模索し 【一般財源】 ていきたいと考えている。 報償費 20.000円 普通旅費 150,000円 特別旅費 90,000円 需用費 130.000円 役務費 50.000円 目的別 性質別